TIS INTEC Group

ICS システム　財務処理 db

銀行 CSV 取込

操作マニュアル

2023.08.02

provided by 日本ICS

●注意
・「銀行 CSV 取込」は、日本 ICS 株式会社が著作権を有するシステムです。
・本マニュアルでは、操作方法や機能について解りやすく説明しています。
・本マニュアルに記載している画面等は開発中の内容も含まれる為、予告なく変更する場合があります。
・本マニュアルに記載している会社名、氏名、名称等は、架空のものです。
・本マニュアルに記載している内容は、作成時点の法令に基づいています。
・本マニュアルから許可なく転記、複写することを固く禁じます。

●商標
・Microsoft、Windows 及び Microsoft Office 製品は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
・Adobe、Adobe ロゴは Adobe Systems Incorporated の商標又は登録商標です。
・本文中では “™” 及び “®” マークは明記していません。

COPYRIGHT 2018 NIHON ICS CO.,LTD.ALL RIGHTS RESERVED

はじめに

この操作マニュアルは、銀行 CSV 取込の操作をするための説明書です。当システムは金融機関の Web サイトなどから取得した取引データの CSV ファイルを取り込み、財務処理 db へ仕訳データを転記します。

操作マニュアルをよくお読みいただき、システムを十分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

日本 ICS 株式会社

目次

1章　銀行 CSV 取込について　1

1 概要 2
2 処理の流れ 3
「銀行 CSV 取込」で仕訳データを作成する 3
3 搭載プログラムの業務一覧 4
銀行 CSV 取込 4
4 操作画面を知る 5
銀行 CSV 取込 5
金融機関メンテナンス 15

2章　使い方　19

1 前準備をする 20
金融データの準備 20
金融機関を登録する 21
支店・科目を登録する 23
2 金融データから仕訳データを作成する 25
仕訳データを作成する 25
3 金融機関の設定をコピーする 27
別の PC に金融機関情報をコピーする 27
金融機関情報をエクスポートする 27
金融機関情報をインポートする 28

3章　こんなときは　29

Q&A 30

索引　33

1章

銀行 CSV 取込について

銀行 CSV 取込について

1 概要 2

2 処理の流れ 3

3 搭載プログラムの業務一覧 4

4 操作画面を知る 5

1 章 銀行 CSV 取込について

1 概要

「銀行 CSV 取込」は金融機関の Web サイトなどから取得した取引データの CSV ファイルを取り込み、財務マスターに仕訳データとして転記する業務です。

■ 金融データを仕訳に

各金融機関の Web サイトから取得した銀行の取引データや、クレジットカードなどの明細データを取り込みます。取得したデータを取り込むため、入力ミスなどの心配がありません。取り込むデータに合わせて項目を登録できるため、あらゆる金融機関のデータを取り込むことができます。

2 処理の流れ

「銀行 CSV 取込」は、金融機関の Web サイトから取得した金融データを財務マスターに取り込み、仕訳データを作成します。

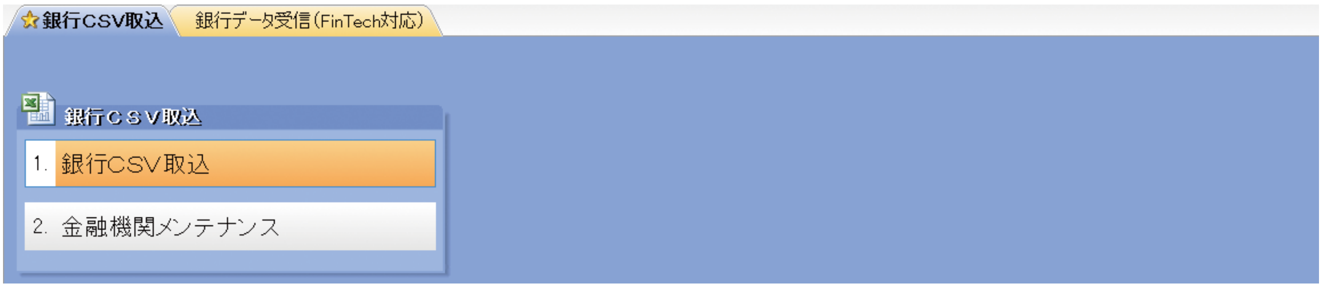
「銀行 CSV 取込」で仕訳データを作成する

Step1 財務マスターを登録する	仕訳データを転記するための財務マスターを作成します。 ※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
Step2 金融機関を登録する P.21	使用する金融機関の登録と、金融機関の CSV ファイルに合わせて項目の登録を行います。
Step3 支店・科目を登録する P.23	支店の登録や口座やカードごとに使用する科目などの登録を行います。
Step4 金融データを取得する	金融機関の Web サイトから金融データの CSV ファイルを取得します。※詳細は各金融機関の Web サイトをご覧ください。
Step5 金融データを編集する P.25	金融データを仕訳データに変換するために、摘要や科目などを編集、設定します。
Step6 仕訳データを作成する	編集した金融データをもとに、財務マスターに仕訳データを転記します。

通常処理（Step4～Step6）

3 搭載プログラムの業務一覧

銀行 CSV 取込



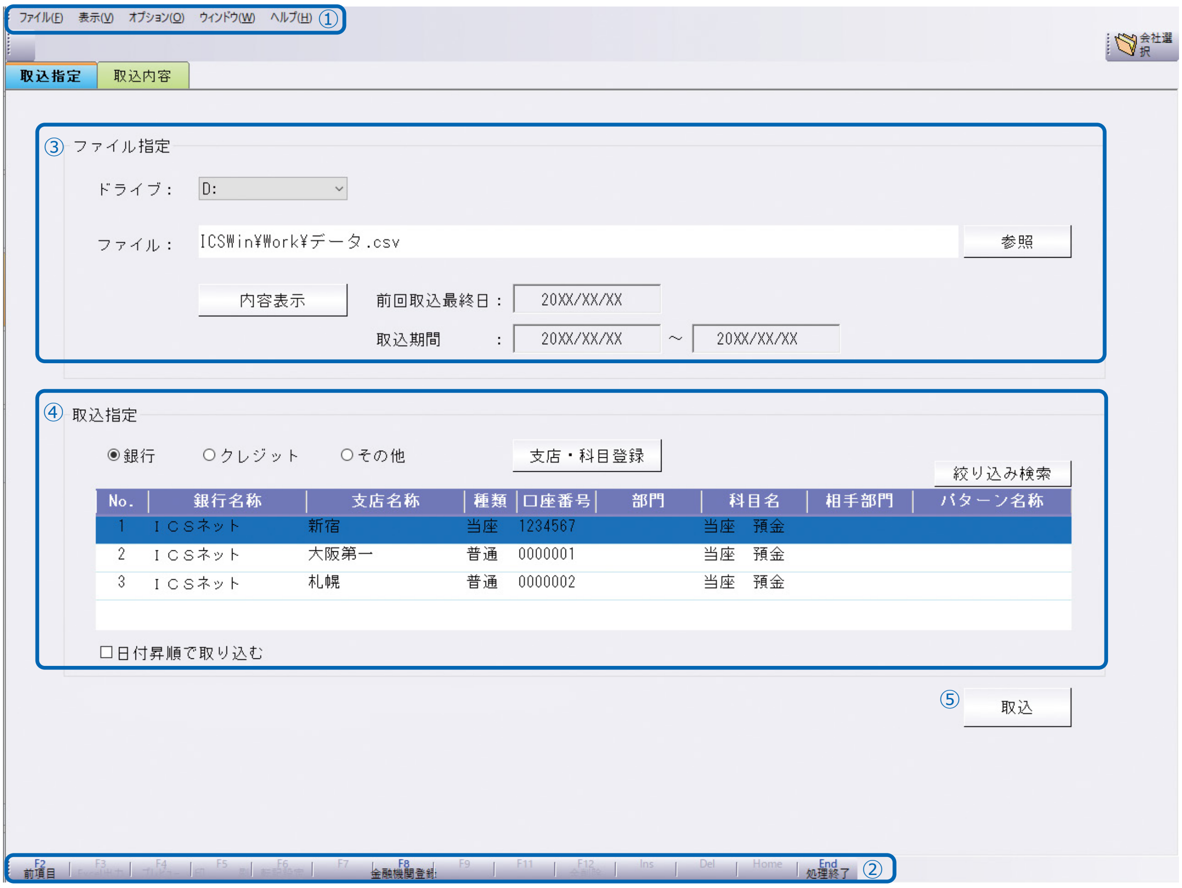
銀行 CSV 取込 P.5		
Web サイトから取得した銀行口座やクレジットカードなどの金融データを取り込み、財務マスターに仕訳データとして転記する業務です。		
金融機関メンテナンス P.15		
「銀行 CSV 取込」で設定した金融機関の設定を USB メモリーを使用してエクスポート・インポートすることで、別 PC にコピーする業務です。		

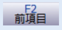
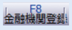
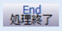
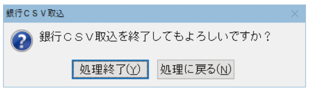
4 操作画面を知る

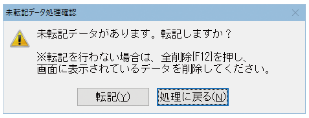
銀行 CSV 取込

取込指定

金融機関や科目を登録し、ファイルを選択して金融データを取り込みます。仕訳データの作成は 取込内容 で行います。P.11

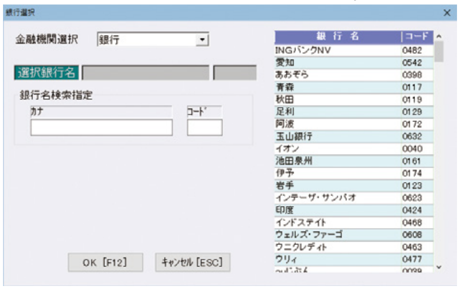


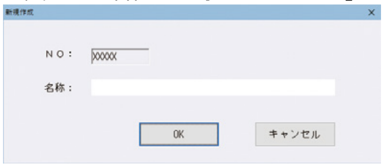
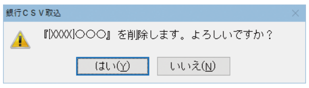
項　目	内　容
① メニューバー	
ファイル	アプリケーションの終了：表示中の業務を終了します。
表示	それぞれの表示・非表示を切り替えます。
オプション	取込設定：AI から割り出した科目を自動で設定する場合は☑を付けます。
ウィンドウ	マルチウィンドウ時にウィンドウの表示方法を変更します。
ヘルプ	バージョン情報とヘルプマニュアルを表示します。
② プログラムツールバー	
	1 つ前にカーソルが移動します。
	使用する金融機関を登録し、金融データのフォーマットの編集を行います。P.7
	業務を終了します。 【未転記のデータが存在しない場合】  処理終了(Y)：業務を終了します。 処理に戻る(N)：処理に戻ります。

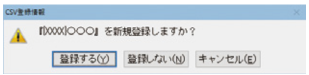
		【未転記のデータが存在する場合】  転記(Y)：「転記」に☑を付けた金融データを転記します。 処理に戻る(N)：処理に戻り、未転記の金融データを確認します。転記せずに終了する場合は「⑦転記」の☑を外すか① F12 全削除 を選択して未転記の金融データを削除してください。
③	ファイル指定	
	ドライブ	取り込みを行う金融データを保存しているドライブを選択します。
	ファイル	取り込みを行う金融データのファイルパスを入力、表示します。
	参照	取り込むファイルを選択します。
	内容表示	取り込むファイルを開き、内容を表示します。
	前回取込最終日	「④取込指定」で選択した金融機関で、前回取り込んだ金融データの最終日を表示します。
	取込期間	取り込むファイルに保存されている金融データの期間を表示します。
④	取込指定	
	金融機関選択	取り込むファイルの金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などのデータを取り込む場合に使用します。 クレジット：クレジットカードののデータを取り込む場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスのデータを取り込む場合に使用します。
	支店・科目登録	使用する金融機関の支店や口座番号、科目などを登録します。P.9
	絞り込み検索	登録済みの「銀行名称／名称」を絞り込みます。「金融機関選択」が「銀行」の場合は一覧から、「クレジット」「その他」の場合は入力した名称から絞り込みます。 絞り込み解除 で絞り込みを解除します。
	No.	番号を表示します。
	銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に項目名に「銀行名称」、「クレジット」「その他」の場合は「名称」と表示します。
	支店名称	支店名称を表示します。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	種類	種別を表示します。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	口座番号	口座番号を表示します。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	部門	部門名を表示します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定したマスターで「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	科目名	科目名を表示します。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	相手部門	相手科目名を表示します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定したマスターで「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	パターン名称	パターン名称を表示します。複数のパターンを登録した金融機関の場合、パターンを選択できます。「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	日付昇順で取り込む	日付の昇順で取り込みます。
⑤	取込	金融データを取り込み、取込内容 に表示します。

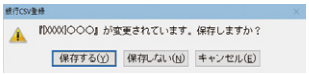
F8　金融機関登録

使用する金融機関を登録し、金融データの CSV ファイルに合わせてフォーマットの編集を行います。大手の金融機関はあらかじめ登録しています。

項　目		内　容
①	金融機関選択	登録する金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などを登録する場合に使用します。 クレジット：クレジットカードを登録する場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスを登録する場合に使用します。
②	絞り込み検索	「③登録済み金融機関」を絞り込みます。「①金融機関選択」が「銀行」の場合は一覧から、「クレジット」「その他」の場合は入力した名称から絞り込みます。 絞り込み解除 で絞り込みを解除します。
③	登録済み金融機関	
	金融機関登録コード	金融機関コード（銀行コード）を表示します。「①金融機関選択」で「銀行」以外を選択した場合は登録時に割り振られたコードを表示します。
	銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合は「銀行名称」、「クレジット」「その他」を選択した場合は「名称」と表示します。
	パターン名称	パターン名称を入力・表示します。口座種別やダウンロード時の選択によって項目が異なるなど、複数のパターンを登録する場合に使用します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
④	新規作成	金融機関情報を新たに登録します。 【銀行の場合】 銀行選択で金融機関を選択または検索して登録します。 

<table>
<tr><td></td><td></td><td>【銀行以外の場合】
金融機関の名称を登録します。「NO」は自動で割り振られます。

</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>削除</td><td>登録済みの金融機関情報を削除します。


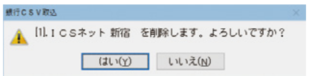
はい(Y)：選択した金融機関情報を削除します。
いいえ(N)：削除をキャンセルして処理に戻ります。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>項目登録</td><td>項目をドラッグ＆ドロップして CSV ファイルに合わせて金融データのフォーマットを登録します。項目を削除する場合は欄外へドロップします。「ダミー」は何度でも使用できます。
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>日付</td><td>CSV ファイルの表示に合わせて選択します。</td></tr>
<tr><td>CSV 摘要 1</td><td>CSV ファイルから摘要として取り込みたい項目がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>CSV 摘要 2</td><td>CSV ファイルから摘要として取り込みたい項目がふたつある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>入金</td><td rowspan="4">CSV ファイルの表示に合わせて選択します。</td></tr>
<tr><td>出金</td></tr>
<tr><td>入出金</td></tr>
<tr><td>残高</td></tr>
<tr><td>ダミー</td><td>取り込まない項目がある場合に選択します。ダミー列が連続している場合は 10 列まで括れます。</td></tr>
<tr><td>区分</td><td>CSV ファイルの表示に合わせて選択します。
※「区分　金融機関名」は「①金融機関選択」で「その他」を選択した場合に表示します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑦</td><td>登録</td><td>金融機関情報を新たに作成し、登録する場合に選択します。


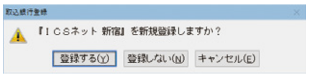
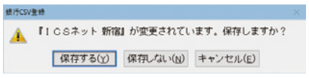
登録する(Y)：作成した内容を登録します。
登録しない(N)：作成した内容を登録せず、元に戻します。
キャンセル(E)：作成をキャンセルして処理に戻ります。</td></tr>
<tr><td>確認</td><td>登録済みの金融機関情報を変更した場合に選択します。


保存する(Y)：変更した内容を保存します。
保存しない(N)：変更した内容を保存せず、元に戻します。
キャンセル(E)：変更をキャンセルして処理に戻ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑧</td><td>キャンセル</td><td>作成や変更を保存せず元に戻す場合に選択します。新たな金融機関情報の作成や登録済みの金融機関情報の変更を行った場合に表示します。</td></tr>
<tr><td>処理終了</td><td>処理を終了します。</td></tr>
</table>

支店・科目登録

F8 金融機関登録で登録した金融機関に支店や口座番号、転記する科目などを登録します。科目は口座ごとに設定できます。

項　目		内　　容
①	金融機関選択	支店・科目などを登録する金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などを登録する場合に使用します。 クレジット：クレジットカードを登録する場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスを登録する場合に使用します。
②	絞り込み検索	「③登録済み口座」を絞り込みます。「①金融機関選択」が「銀行」の場合は一覧から､「クレジット」「その他」の場合は入力した名称から絞り込みます。 絞り込み解除 で絞り込みを解除します。
③	登録済み口座	
	No.	番号を表示します。登録した順に番号が割り当てられます。
	銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「①金融機関選択」が「銀行」の場合は「銀行名称」､「クレジット」「その他」の場合は「名称」と表示します。
	支店名称	支店名称を表示します。支店は④ 新規作成 から選択します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	種別	種別を選択します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	口座番号	口座番号を入力します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
④	新規作成	支店・科目情報へ新たに登録する銀行を一覧表示します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に選択できます。
⑤	削除	「③登録済み口座」を削除します。「①金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に選択できます。  はい(Y)：選択した支店・科目情報を削除します。 いいえ(N)：削除をキャンセルして処理に戻ります。

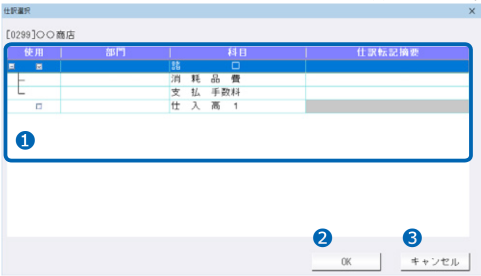
⑥	科目指定	
	部門 相手部門	部門と相手部門を選択します。「①金融機関選択」で「クレジット」「その他」を選択した場合は 取込内容 の「部門」で入力します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に選択できます。選択肢は「財務処理 db」→「登録・入力」→「部門登録」の内容を表示します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
	科目	科目を入力します。科目一覧からも選択できます。「①金融機関選択」で「銀行」以外を選択した場合は 取込内容 の「科目」で入力します。
	枝番	枝番を選択します。「①金融機関選択」で「クレジット」「その他」を選択した場合は 取込内容 の「枝番」で入力します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」で「経理処理情報」の「枝番入力」を「行う」に設定した場合に選択できます。選択肢は「財務処理 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」の「枝番残高登録」の内容を表示します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
⑦	摘要選択	F8 金融機関登録 で「CSV 摘要」を複数登録した金融機関の場合、 取込内容 の「仕訳転記摘要」への取り込み方法を選択します。
⑧	ヘッダー情報	
	ヘッダー行数	金融データのヘッダー行数を選択します。「自動判定」を選択した場合、取り込み時にヘッダー行数を自動で判定します。
⑨	登録	支店・科目情報を登録します。  登録する(Y)：作成した内容を登録します。 登録しない(N)：作成した内容を登録せず、元に戻します。 キャンセル(E)：作成をキャンセルして処理に戻ります。
	確認	登録済みの支店・科目情報への変更を保存します。  保存する(Y)：変更した内容を保存します。 保存しない(N)：変更下内容を保存せず、元に戻します。 キャンセル(E)：変更をキャンセルして処理に戻ります。
	キャンセル	作成や変更を保存せず元に戻す場合に選択します。新たな口座の作成や登録済みの口座情報の変更を行った場合に表示します。
	処理終了	処理を終了します。

科目の選択[指定範囲]

1 現　金	9 当座 預金 6	17 普通 預金 4	25 通知 預金 2	33 積立 預金 5
2 小口現金	10 当座 預金 7	18 普通 預金 5	26 通知 預金 3	34 定期 預金 1
3 受取 小切手	11 当座 預金 8	19 普通 預金 6	27 通知 預金 4	35 定期 預金 2
4 当座 預金 1	12 当座 預金 9	20 普通 預金 7	28 通知 預金 5	36 定期 預金 3
5 当座 預金 2	13 当座 預金 10	21 普通 預金 8	29 積立 預金 1	37 定期 預金 4
6 当座 預金 3	14 普通 預金 1	22 普通 預金 9	30 積立 預金 2	38 定期 預金 5
7 当座 預金 4	15 普通 預金 2	23 普通 預金 10	31 積立 預金 3	39 他 預 金 1
8 当座 預金 5	16 普通 預金 3	24 通知 預金 1	32 積立 預金 4	40 他 預 金 2

取込内容

取り込んだ金融データを編集して、財務マスターに仕訳データを作成します。金融データの取り込みは 取込指定 で行います。P.5

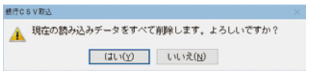
項　目	内　容
① プログラムツールバー	
F2 前項目	１つ前にカーソルが移動します。
F3 摘要仕訳選択	選択した金融データから作成する仕訳を選択します。「⑦ CSV 摘要」が⑧ 摘要登録(Insert) または「財務 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」で複数の自動仕訳を登録した摘要と同じ場合に表示します。仕訳の追加、編集は F11 摘要仕訳編集 で行います。 
F6 転記設定	科目が未設定のままの金融データを転記する場合に使用する科目や枝番を選択します。（初期設定は「未確定科目」。）
F8 明細行追加	複合仕訳を作成するために明細行を追加します。
F9 明細行削除	追加した明細行を削除します。

❶使用	作成する仕訳に☑を付けます。
部門	部門を表示します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録･修正･削除」の「経理処理情報」で「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。
科目	科目と枝番を表示します。
仕訳転記摘要	「⑦仕訳転記摘要」にセットする摘要を表示します。
❷ OK	「❶使用」で☑を付けた仕訳を作成します。
❸ キャンセル	仕訳を作成せずに画面を閉じます。

	F11 摘要仕訳編集	摘要辞書に登録済みの摘要へ自動仕訳の編集や追加登録ができます。編集した内容は次回起動時に反映します。

❶登録摘要一覧	摘要辞書に登録済みの摘要を表示します。
❷ 摘要検索	摘要辞書をカナ検索して「❶登録摘要一覧」に呼び出します。
❸ CSV 摘要設定	「❶銀行 CSV 摘要」と「⑦ CSV 摘要１」「⑦ CSV 摘要２」を紐づけるための判定方法を選択します。 完全一致：「❶銀行 CSV 摘要」と「⑦ CSV 摘要１」「⑦ CSV 摘要２」の名称が同一の場合に一致と判定します。 部分一致：「❶銀行 CSV 摘要」の名称が「⑦ CSV 摘要１」「⑦ CSV 摘要２」に含まれている場合に一致と判定します。
❹単一仕訳 / 複合仕訳	登録する仕訳の種類を選択します。
❺登録仕訳一覧	登録済みの仕訳を表示します。
❻ 新規仕訳追加 (F6)	「❺登録仕訳一覧」に新規行を追加します。
❼ 仕訳削除 (F7)	「❺登録仕訳一覧」でカーソルを止めた仕訳行を削除します。
❽ 明細行追加 (F8)	「❺登録仕訳一覧」に明細行を追加します。複合仕訳の登録時に表示します。
❾ 明細行削除 (F9)	「❺登録仕訳一覧」でカーソルを止めた明細行を削除します。複合仕訳の登録時に表示します。
❿ OK (End)	登録した内容を保存し、画面を閉じます。

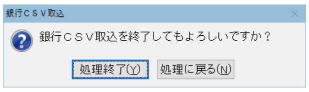
	F12 全削除	取り込んだ金融データをすべて削除します。



はい(Y)：取り込んだ金融データをすべて削除し 取込指定 に移動します。
いいえ(N)：処理に戻ります。

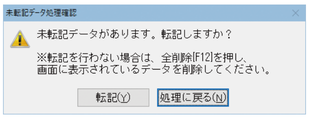
	End 処理終了	業務を終了します。

【未転記のデータが存在しない場合】



処理終了(Y)：業務を終了します。
処理に戻る(N)：処理に戻ります。

【未転記のデータが存在する場合】

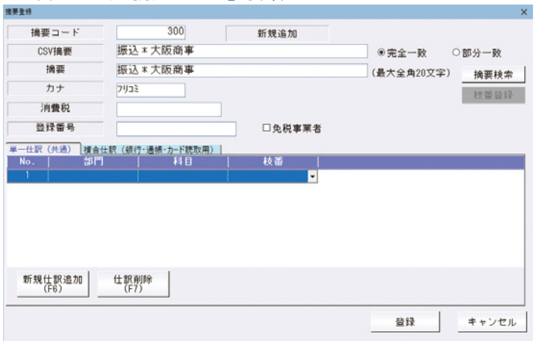


転記(Y)：「転記」に☑を付けた金融データを転記します。
処理に戻る(N)：処理に戻り、未転記の金融データを確認します。転記せずに終了する場合は「⑦転記」の☑を外すか F12 全削除 を選択して未転記の金融データを削除してください。

②	金融機関	取り込んだ金融機関の情報を表示します。
③	摘要形式	「⑦仕訳転記摘要」の形式を表示します。設定を変更する場合は 取込指定 の 支店・科目登録 の「摘要選択」で行います。
④	未確定科目数	「⑦科目」が未設定の金融データの数／「⑦転記」に☑を付けた金融データの数を表示します。
⑤	部門	「銀行」の金融データの場合は取り込んだ部門を表示します。「クレジット」「その他」の金融データの場合は部門を選択し、 部門一括入力 で相手部門を一括入力できます。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」→「経理処理情報」の「部門入力」を「行う」に設定した場合に表示します。選択肢は、「財務処理 db」→「登録・入力」の「部門登録」で登録した内容を表示します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

<table>
<tr><td></td><td>科目</td><td>「銀行」の金融データの場合は取り込んだ科目を表示します。「クレジット」「その他」の金融データの場合は科目を入力または一覧から選択します。

</td></tr>
<tr><td></td><td>枝番</td><td>「銀行」の金融データの場合は取り込んだ金融データに設定した枝番を表示します。「クレジット」「その他」の金融データの場合は枝番を選択します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の「経理処理情報」で「枝番入力」を「行う」に設定した場合に表示します。選択肢は「財務処理 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」の「枝番残高登録」で登録した内容を表示します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>全選択／全解除</td><td>すべての「⑦転記」の☑を付け外しします。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>日付</td><td>取り込んだ金融データの日付を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>CSV 摘要 1</td><td>取り込んだ金融データの CSV 摘要 1 を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>CSV 摘要 2</td><td>取り込んだ金融データの CSV 摘要 2 を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>仕訳転記摘要</td><td>仕訳データとして転記する際の摘要を入力します。⑨ 摘要検索(Home) から摘要辞書を転記できます。初期値は「③摘要形式」に表示している設定で作成されます。設定を変更する場合は 取込指定 の 支店・科目登録 の「摘要選択」で行います。</td></tr>
<tr><td></td><td>科目</td><td>科目を入力または一覧から選択します。「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」で「経理処理情報」の「枝番入力」を「行う」に設定した場合は枝番も入力できます。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

</td></tr>
<tr><td></td><td>入金</td><td>取り込んだ金融データの入金額を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>出金</td><td>取り込んだ金融データの出金額を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>消費税</td><td>取り込んだ金融データの消費税を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>通帳残高</td><td>取り込んだ金融データの通帳残高を表示します。「銀行」「その他」の金融データの場合に表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>科目残高</td><td>「⑤科目」の残高を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>転記</td><td>仕訳データとして転記する場合に☑を付けます。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>摘要登録(Insert)</td><td>「⑦ CSV 摘要 1」または「⑦ CSV 摘要 2」を「財務処理 db」→「登録・入力」→「科目設定・残高登録」の「摘要辞書登録」に追加し、以後は 摘要検索(Home) で呼び出せます。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。


※「枝番」を新規追加した場合、消費税属性は「科目」の設定を転用します。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>摘要検索(Home)</td><td>摘要辞書をカナ検索して「⑦仕訳転記摘要」に入力します。</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>転記開始</td><td>金融データを財務マスターに転記し、仕訳を作成します。</td></tr>
</table>

項目名と金融データの背景色

科目の設定状況や転記の有無などにより、項目名や金融データの背景色が変わります。

・項目名

グリーン：取り込んだ CSV ファイルの項目名

ブルー　：「仕訳入力」での項目名

・金融データ

イエロー：科目が未設定の金融データ

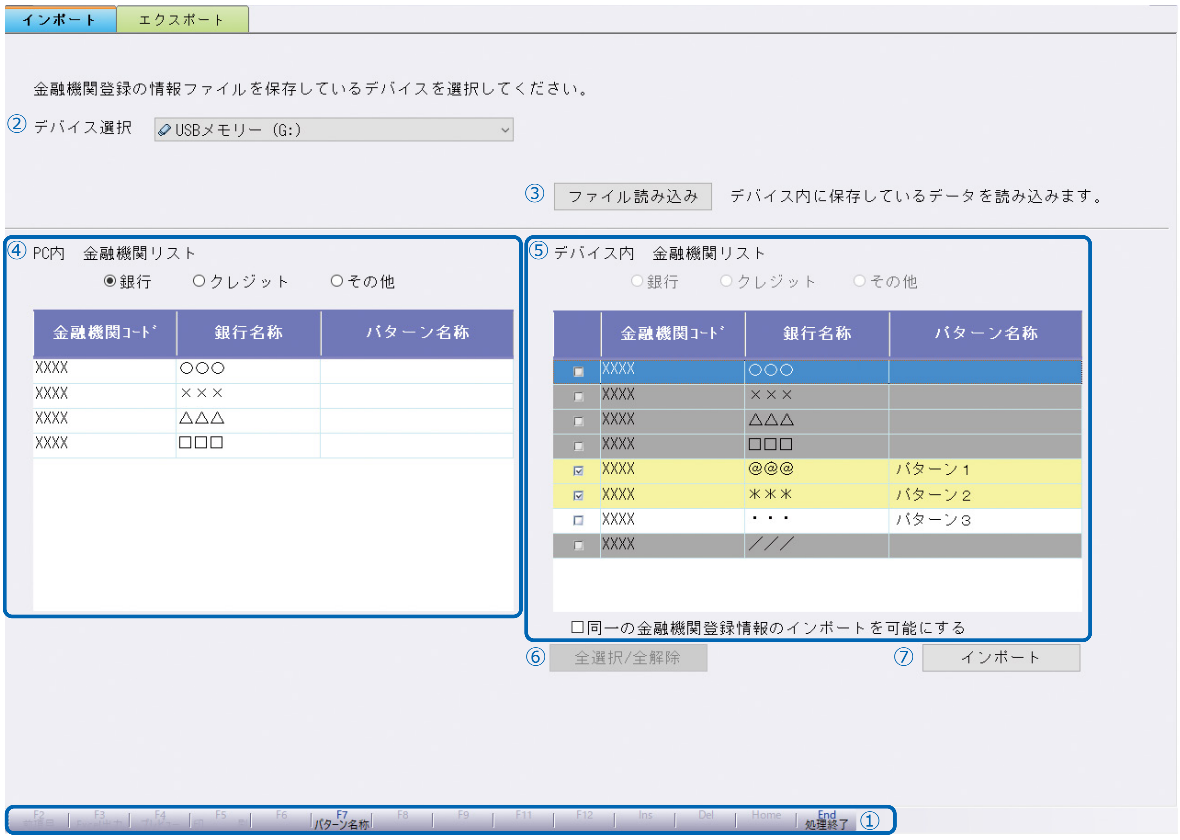
ホワイト：科目を設定した金融データ

グレー　：転記に☑が付いていない金融データ

金融機関メンテナンス

インポート

別 PC から USB メモリーにエクスポートした金融機関の登録情報をインポートします。金融機関情報のエクスポートは エクスポート で行います。P.17



項　目		内　　容
①	プログラムツールバー	
	F7 パターン名称	デバイスに保存している金融機関情報のパターン名称を編集可能に切り替えます。「⑤デバイス内金融機関リスト」で「銀行」を選択した場合に表示します。
	End 処理終了	業務を終了します。
②	デバイス選択	インポートする金融機関情報が保存されたデバイスを選択します。
③	ファイル読み込み	デバイスの金融機関情報を読み込み、「⑤デバイス内金融機関リスト」に表示します。
④	PC 内金融機関リスト	
	金融機関選択	表示する金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などを表示する場合に使用します。 クレジット：クレジットカードを表示する場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスを表示する場合に使用します。
	金融機関コード	金融機関コードを表示します。
	銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「銀行」を選択した場合は「銀行名称」、「クレジット」「その他」を選択した場合は「名称」と表示します。
	パターン名称	パターン名称を表示します。「銀行」を選択した場合に表示します。
⑤	デバイス内金融機関リスト	
	金融機関選択	表示する金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などを表示する場合に使用します。 クレジット：クレジットカードを表示する場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスを表示する場合に使用します。
	☑	インポートするデータに☑を付けます。「同一の金融機関登録情報のインポートを可能にする」に☑を付けた場合は登録済みの金融機関も上書きでインポートします。
	金融機関コード	金融機関コードを表示します。

	銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「⑤デバイス内金融機関リスト」で「銀行」を選択した場合は「銀行名称」、「クレジット」「その他」を選択した場合は「名称」と表示します。
	パターン名称	パターン名称を表示します。「⑤デバイス内金融機関リスト」で「銀行」を選択した場合に表示します。パターン名称を編集する場合は① F7 パターン名称 で変更の可否を切り替えます。
⑥	全選択/全解除	「⑤デバイス内金融機関リスト」のすべての☑を付け外しします。
⑦	インポート	インポートを行います。

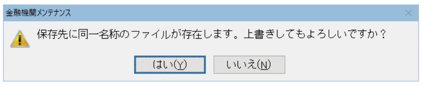
インポートできない金融機関情報と背景色

PC とデバイスの情報を比較してインポートの可否を判断します。インポートできる登録情報からインポートする項目を選択できます。☑の有無により更に背景色を変更します。

イエロー：インポートするデータ
ホワイト：インポートしないデータ
グレー　：PC とデバイスで金融機関コード、銀行名称／名称、パターン名称が重複しインポートできないデータ（「同一の金融機関登録情報のインポートを可能にする」に☑を付けた場合は制限を解除します。）

エクスポート

金融機関の登録情報を別 PC にコピーするために、USB メモリーにエクスポートします。金融機関情報のインポートは インポート で行います。P.15

項　目	内　容
① メニューバー	他の業務と同じです。P.5
② プログラムツールバー	
End 処理終了	業務を終了します。
③ デバイス選択	金融機関情報をエクスポートするデバイスを選択します。
④ PC 内金融機関リスト	
金融機関選択	表示する金融機関を選択します。 銀行：銀行や信用金庫などを表示する場合に使用します。 クレジット：クレジットカードを表示する場合に使用します。 その他：マネーフォワードや MoneyLook 銀行など、資産管理サービスを表示する場合に使用します。
金融機関コード	金融機関コードを表示します。
銀行名称／名称	金融機関の名称を表示します。「④ PC 内金融機関リスト」の「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合は項目名に「銀行名称」、「クレジット」「その他」を選択した場合は「名称」と表示します。
パターン名称	パターン名称を表示します。「④ PC 内金融機関リスト」の「金融機関選択」で「銀行」を選択した場合に表示します。
⑤ エクスポート	エクスポートを行います。 【既にエクスポートしたデバイスの場合】  はい(Y)：上書きしてエクスポートします。 いいえ(N)：処理に戻ります。

2章

使い方

使い方

1	前準備をする	20
2	金融データから仕訳データを作成する	25
3	金融機関の設定をコピーする	27

2 章 使い方

1 前準備をする

金融データの準備

●金融データとフォーマット

金融機関の Web サイトからダウンロードした金融データの CSV ファイルを取り込みます。

金融機関によって CSV ファイルのフォーマットは異なるため、金融機関ごとにフォーマットを登録する必要があります。

金融機関ごとにフォーマットを登録

○○クレジット

日 付	ご利用先	ご利用金額	支払区分	お支払金額	国内／海外	備考
4/1	○○電機	34,800	リボ	14,800	国内	1 回目
4/1	○○ショップ	5,320	1 回	5,320	国内	

○○銀行

日 付	摘要	摘要内容	支払金額	預り金額	差引残高
20XX/4/1	引落	ガス	5,680		100,000
20XX/4/1	振込	○○旅行	50,000		50,000
20XX/4/1	手数料	手数料	216		49,784

金融機関を登録する

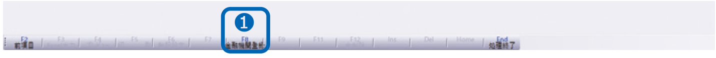
金融データを取り込むために、使用する金融機関を登録しておく必要があります。金融機関ごとに CSV ファイルのフォーマットが異なるため、それぞれに合わせてフォーマットを登録します。

1 「銀行 CSV 取込」を実行

❶「業務選択」から「銀行 CSV 取込」→「銀行 CSV 取込」を選択します。

2 金融機関登録を選択

❶ 金融機関設定 を選択します。



❷登録する金融機関の種類を選択します。

❸ 新規作成 を選択します。

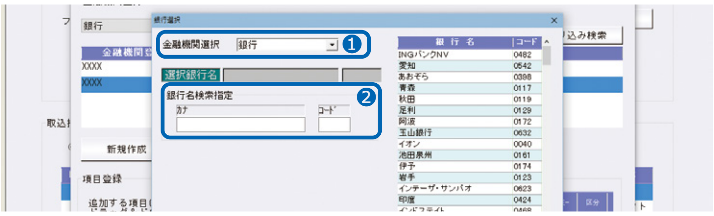
登録済みの金融機関情報

大手の金融機関はあらかじめ登録しています。また、他の財務マスターで登録した金融機関情報も表示します。

3 金融機関を選択

❶金融機関を選択します。

❷金融機関の名称やコードを入力して検索します。



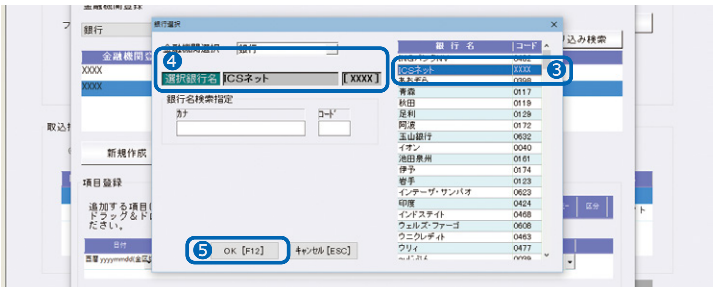
金融機関が見つからない場合

使用する金融機関が銀行選択に表示されない場合、「共通処理」→「ユーティリティ」→「銀行名称登録」で登録します。詳細は「共通処理」操作マニュアルをご覧ください。

❸登録する金融機関を選択します。

❹「選択銀行名」に❸の金融機関が表示されたことを確認します。

❺ OK [F12] を選択します。



4 パターン名称を入力

❶パターン名称を登録する場合は入力します。

パターン名称の設定

同じ金融機関でも口座の種別やダウンロードの設定などにより、CSV 項目の並び順が異なる場合があります。任意のパターン名称を登録することで区別できます。

5 項目を編集

❶ CSV ファイルのフォーマットに合わせて項目を編集します。項目を一覧から選択しドラッグ & ドロップでリストに追加します。追加したリスト内で並び替えも行えます。

「ダミー」の使用方法

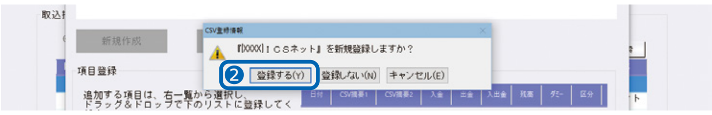
金融機関独自の項目など、フォーマットと合致する項目が無い場合は「ダミー」を使用します。「ダミー」の列は取り込み対象から除外します。

P.8

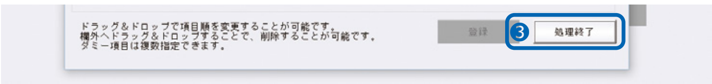
6 金融機関情報を登録

❶ 登録 を選択します。

❷ 登録する(Y) を選択します。



❸ 処理終了 を選択します。



支店・科目を登録する

登録した金融機関に支店や口座番号、科目などの情報を登録します。CSV 摘要を複数使用している場合は摘要の作成ルールも設定します。

1 「銀行 CSV 取込」を実行

❶「業務選択」から「銀行 CSV 取込」→「銀行 CSV 取込」を選択します。

2 支店・科目登録を選択

❶ 支店・科目登録 を選択します。

❷登録する金融機関の種類を選択します。

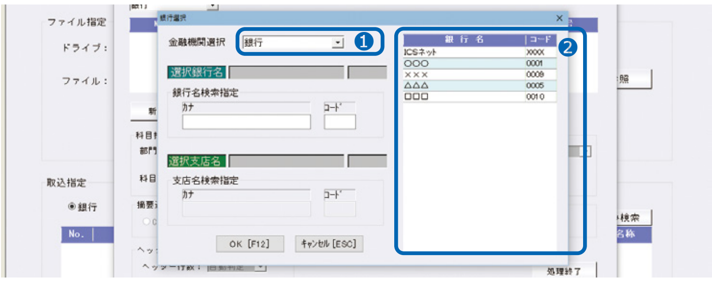
❸ 新規作成 を選択します。

3 金融機関を選択

❶金融機関を選択します。

❷登録済みの金融機関一覧から金融機関を選択します。登録数が多い場合は、カナ検索やコード指定を使用します。

金融機関が登録されていない場合
使用する金融機関が銀行選択に表示されない場合は F8 金融機関登録 で登録します。 P.21

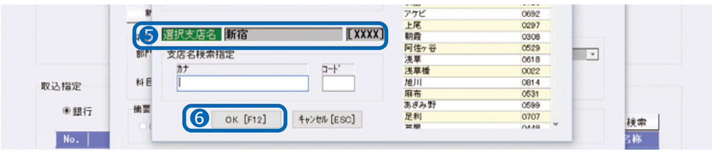


❸「選択銀行名」に❷の金融機関が表示されたことを確認します。

❹支店一覧から支店を選択します。

❺「選択支店名」に支店が表示されていることを確認します。

❻ OK [F12] を選択します。

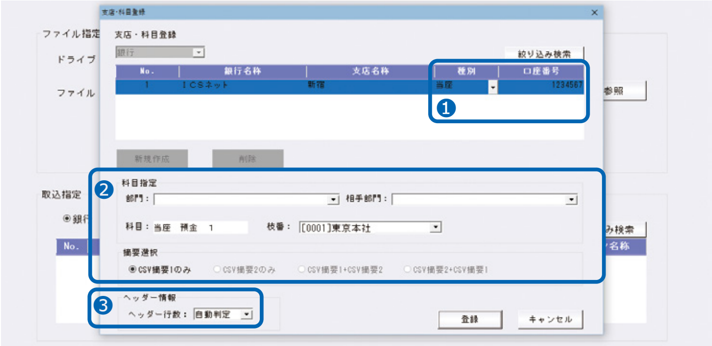


4 口座情報を入力

❶「種別」「口座番号」を入力します。

❷「科目」や「枝番」、摘要の取込方法を選択します。

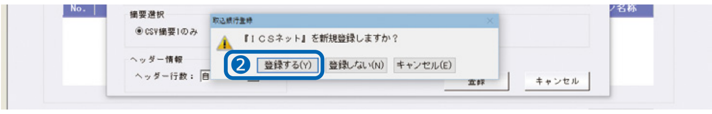
❸「ヘッダー行数」を選択します。



5 支店・科目情報を登録

❶ 登録 を選択します。

❷ 登録する(Y) を選択します。



❸ 処理終了 を選択します。

2 金融データから仕訳データを作成する

金融データの CSV ファイルを取り込み、編集して財務マスターに仕訳データとして転記します。取り込む金融データはあらかじめ金融機関の Web サイトからダウンロードしておく必要があります。

仕訳データを作成する

1 「銀行 CSV 取込」を実行

❶「業務選択」から「銀行 CSV 取込」→「銀行 CSV 取込」を選択します。

2 ファイルを選択

❶各金融機関の Web サイトからダウンロードした CSV ファイルを選択します。

3 取り込み情報を選択

❶取り込む金融機関を選択します。

取込指定
あらかじめ金融機関や支店、口座などの情報を登録しておく必要があります。P.20

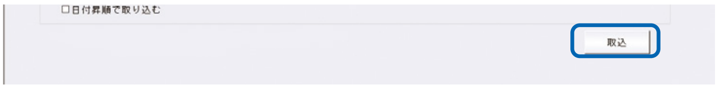
4 ファイルを取り込む

❶ 取込 を選択します。

エラー表示
CSV ファイルと F8 金融機関登録 で登録した項目の並びに差異がある場合はメッセージを表示します。エラー内容を確認し、F8 金融機関登録 で並びを合わせてください。

※ファイルの内容と指定したCSV様式が異なります。
金額列に文字が入っています。

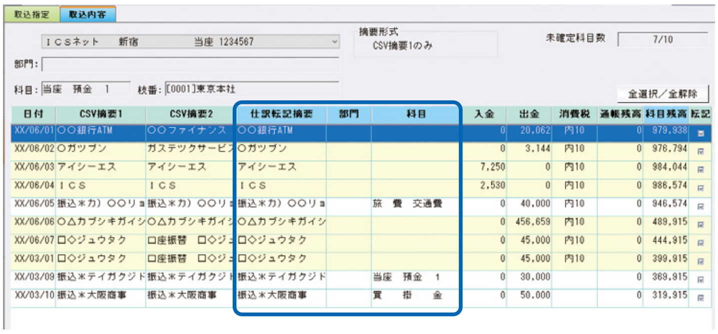
CSV ファイルを開き、「名前を付けて保存」を行うことで解消する場合もあります。



5 金融データを編集

❶「仕訳転記摘要」「科目」などを入力します。

摘要登録のメリット
CSV 摘要を登録することで、仕訳転記摘要や科目などを自動で設定することができます。P.13

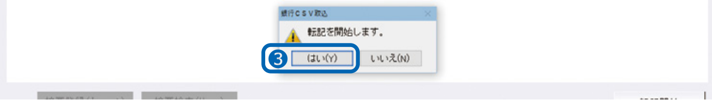


6 仕訳データを作成

❶「転記」に☑が付いていることを確認します。

❷ 転記開始 を選択します。

❸ はい(Y) を選択します。



❹ OK を選択します。

次のファイルを取り込む場合

転記が終了して次のファイルの取り込みを行う場合は、F12 全削除 を選択して取り込みが終了した金融データを削除します。

はい(Y)：取り込んだ金融データを削除して次のファイルを取り込めるようにします。

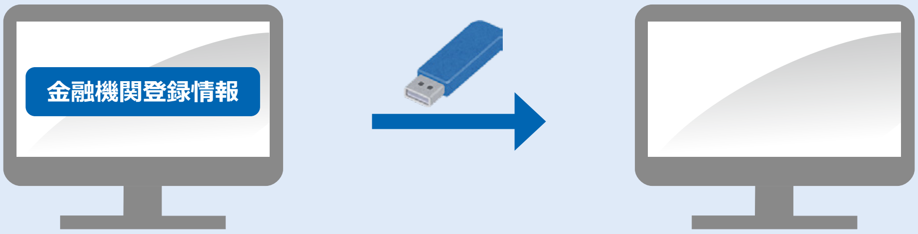
いいえ(N)：削除処理をキャンセルします。

3 金融機関の設定をコピーする

別の PC に金融機関情報をコピーする

●金融機関情報

F8 金融機関登録で登録した金融機関情報を USB メモリー使ってエクスポート、インポートすることで別の PC へコピーできます。



金融機関情報をエクスポートする

1 「金融機関メンテナンス」を実行

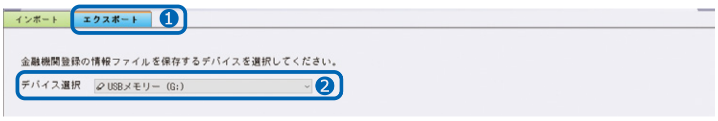
❶ USB メモリーを挿入します。

❷「業務選択」から「銀行 CSV 取込」→「金融機関メンテナンス」を選択します。

2 デバイスを選択

❶ エクスポート を選択します。

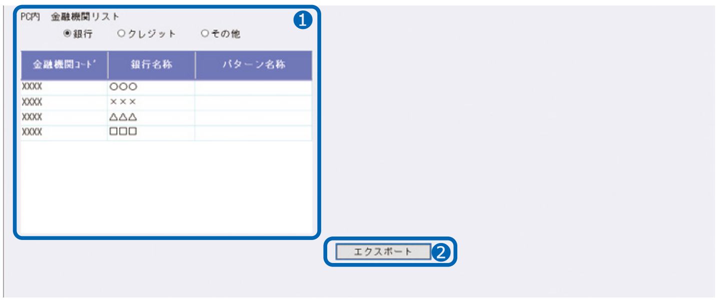
❷エクスポート先のデバイスを選択します。



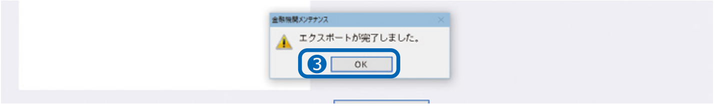
3 データをエクスポート

❶ PC に登録されている金融機関情報を確認します。

❷ エクスポート を選択します。



❸ OK を選択します。



金融機関情報をインポートする

1 「金融機関メンテナンス」を実行

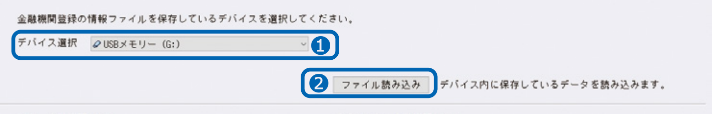
❶ USB メモリーを挿入します。

❷「業務選択」から「銀行 CSV 取込」→「金融機関メンテナンス」を選択します。

2 ファイルを読み込む

❶インポート元のデバイスを選択します。

❷ ファイル読み込み を選択します。



3 データをインポート

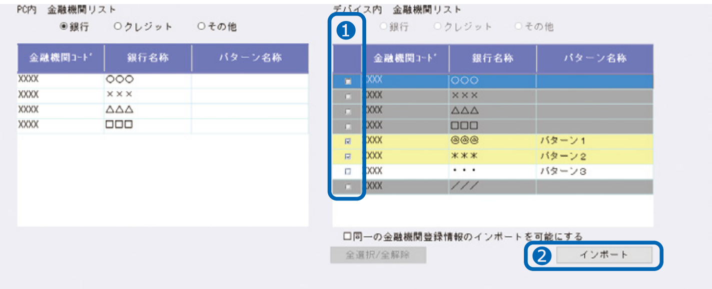
❶インポートする金融機関情報に☑を付けます。

❷ インポート を選択します。

パターン名称の編集方法

銀行の金融機関情報の場合、F7 パターン名称 でパターン名称を編集できます。PC に同じ銀行の金融機関情報は「同一の金融機関登録情報のインポートを可能にする」に☑を付けて上書き転記できます。同じ銀行の金融機関情報でも F7 パターン名称 でパターン名称を編集した場合は新規に取り込めます。P.15

❸ OK を選択します。



3章

こんなときは

こんなときは

Q&A 30

3章 こんなときは

Q&A

処理を行う上で困った場合や、操作方法がわからない場合にご覧ください。

● Q&A 目次

Q1. 自動で科目や摘要を設定するには

Q2. [F8 金融機関登録]で銀行選択に出てこない金融機関を登録するには

Q3. 財務マスターを削除するには

Q4. 財務マスターをコピーするには

Q5. 決算確定したマスターを処理できるようにするには

Q6. マスターをバックアップ・リストアするには

Q1. 自動で科目や摘要を設定するには

A1. 摘要登録を使用します。

取込内容の「CSV 摘要」でよく使う摘要を摘要辞書へ登録すると、仕訳転記摘要や科目などを自動で設定することができます。

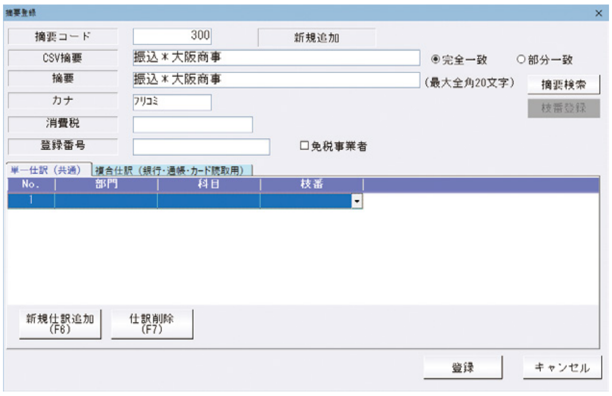
【摘要登録の手順】

❶登録する「CSV 摘要」を選択します。

❷摘要登録(Insert)を選択します。

❸新規仕訳追加(F6)を選択し、転記する部門や科目などを登録します。

❹登録を選択します。



Q2. 金融機関登録(F8)で銀行選択に出てこない金融機関を登録するには

A2. 銀行名称登録を行います。

使用する金融機関が銀行選択に表示されない場合や、銀行や支店名称を変更、追加したい場合は「共通処理」→「ユーティリティ」→「銀行名称登録」で登録します。

※詳細は「共通処理」操作マニュアルをご覧ください。

Q3. 財務マスターを削除するには

A3.「新規会社登録・修正・削除」から行います。

「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」の会社削除(F8)から財務マスターを削除します。※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

Q4. 財務マスターをコピーするには

A4.「財務マスターコピー」から行います。

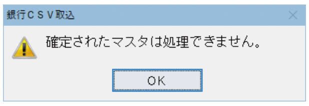
「財務処理 db」→「通信･移動」→「財務マスターコピー」で財務マスターをコピーします。

※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。

Q5. 決算確定したマスターを処理できるようにするには

A5.「新規会社登録・修正・削除」から行います。

「財務処理 db」→「登録・入力」→「新規会社登録・修正・削除」→「会計基本情報」の「決算確定」の☑を外します。
※詳細は「財務処理 db」操作マニュアルをご覧ください。



Q6. マスターをバックアップ・リストアするには

A6.「バックアップ・リストア」から行います。

「共通処理」→「db 導入・設定・印刷」→「バックアップ・リストア」から行います。
※詳細は「共通処理」操作マニュアルをご覧ください。

索引

索引

C
CSV 摘要 8, 13, 25, 31
CSV ファイル.................................. 2, 20, 25

い
インポート 15, 28

え
エクスポート 17, 27

き
銀行選択 7, 9
金融機関情報 27, 28
金融機関登録 21, 31
金融機関登録コード..................................... 7
金融データ 3, 5, 14, 26

け
決算確定 32

こ
項目登録 8

さ
財務マスター 2

し
仕訳データ 3, 4, 25
仕訳転記摘要 10, 13, 25, 31

せ
前回取込最終日 6

た
ダミー 8, 22

て
摘要形式 12
摘要辞書 13, 31
摘要登録 31
デバイス 15, 17, 27, 28

は
パターン名称 7, 15, 28

へ
ヘッダー 10, 24

め
明細行 11